

# 番 3学年通信 第3号

上田市立第五中学校 3学年会  
令和4年5月27日(金)  
文責 井出

## トッブとして、「3つの目」で見よう！

依然として、コロナ禍の日々が続いています。

しかし、第1回目の生徒会が行われたり、部活動発足会があったりと少しずつではありますが、様々な活動が行われるようになってきています。ということは、改めて、3学年の廊下にも掲示されている「トッブの自覚!」「トッブの姿勢!」「トッブの行動!」を意識することが大切になってきます。今の皆さんはどうでしょうか。

### 「紡ぐ」から

今日は、第1回の生徒会委員会がありました。

長く延期にしていたので、やることが多くて大変だ

ったし、短縮の25分だったので、ちょっとキツかったですが、最後まできちんとできたので良かったです。

先日あるテレビ番組を見ていたら、チームが低迷し、もがき苦しんでいる1人のプロ野球の監督さん(チームのトップですね)が話をされていました。それは、かつて私が中学生の頃に教えていただいた話とほぼ同じで、「ハッ」としました。

私は中学生の頃、生徒会男子副会長と野球部の主将を務めていました。2年生の冬、生徒会の選挙で当選した直後、生徒会長、私、女子副会長の3人は、生徒会担当の先生に呼ばれました。緊張感しながら入った職員室で、先生は私たちに次のように話をされました。

「当選おめでとう。これからあなた達3人が中心になって、1200人を超えるこの学校の生徒会をリードしてもらうことになる。そこで、トッブのリーダーとして、3つの目を持ってもらいたい。1つ目は、“**鳥の目**”だ。俯瞰(ふかん…「高いところから見おろすこと。全体を上から見ること。」と広辞苑には書かれています。より分かりやすく言うと、例えば、あなたが富士山に登っているとしましょう。登っているときには富士山がどんな形をしていて、どれだけ大きいのか把握することは難しいです。でも、飛行機に乗って上空から富士山を見おろせば、その大きさや地形をしっかりと見られます。つまり、「俯瞰して見る」とは、物事を判断するときに、一部だけを見るのではなく、対象となる物事や案件から一歩ひいて「全体像をしっかりと見る」ということです) **して見ることの大事さを忘れてはいけない**。そして、2つ目は、“**虫の目**”だ。**細かいところを見る目も必要だ**。最後は、“**魚の目**”だ。**流れを読む目も必要だ**。その中で、1つの目で見ても、また、1つ欠けても視野が狭くなり、組織の機能は低下していく。あなた達3人は今日から、3つの目で全校を見るよう自分が変わらな**いと**いけない。」と・・・。

これから、生徒会活動が本格化します。また、運動系の部活動は、もうすぐ最後の「目」で見ることで、自分の中で何かが変わっていくのを感じることができると思います。それは、委員会や部活動を前向きに変えることに繋がると思います。ぜひ、試してみてください。

